



自然に親しむところ

兵庫県千種川グリーンライン 昆虫館



兵庫県教育委員会



■所在地■

兵庫県佐用郡南光町船越
〒679-5227 電話(0790) 770103



■交通■

バス

■姫路(林田経由国道29号線)山崎…約1時間。
山崎から千種行バスに乗換え、船越停留所
下車…約40分。(徒歩3分)

鉄道

姫路から姫新線にて播磨徳久駅下車…約1
時間。徳久から千種行バス又は船越止にて船
越下車…約40分。(徒歩3分)

中国自動車道

山崎か佐用インターチェンジから、それぞ
れ30分。

(※バスは姫路～山崎は準急・特急あり。)



スズムシの飼い方

いれもの

プラスチック、ガラスの水
そうか、広いビン、カメなど
で、虫の繁りにくいもの。

とまり①

よく洗った板、木の皮、枯
木など。暗色がよい。

えさ①

ナス、キュウリ、カボチャ、ナス、ニンジン、リンゴ、
パンなどよく食べるものをえらぶ。



フタ 目の小さなアミぶた。

キリフキ

土が乾かぬていどにしめり気をたもつ。虫
にかけないこと。

えさ②

ニボシ、カツオツシの粉など。

とまり②

シヤノヒゲのような草がよい。
ぶたにつかないように。

つち

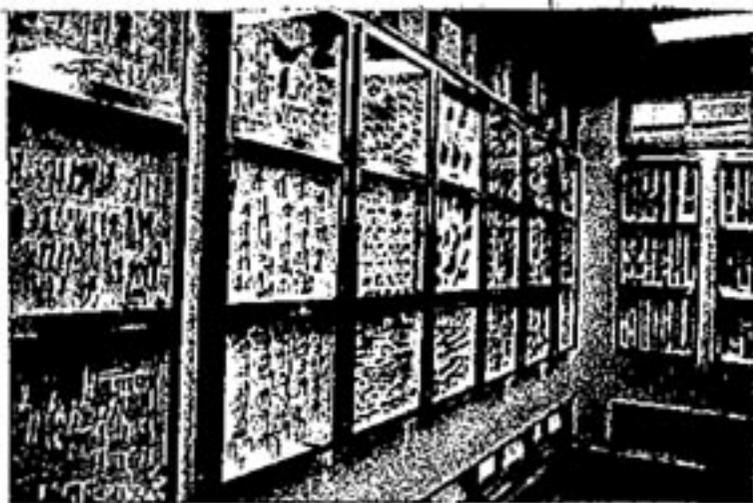
消毒した土(焼土)か、よく
洗った川砂、まさ土などで、
5～10cmの厚さに。

その他

・虫が産卵して終わったあとはゴミを除き、湿気を切らさぬようにして越冬させます。
・夜間照明し、昼間暗くしてやると昼間よく鳴く。また気温操作で年中飼育もできます。

昆虫標本部門

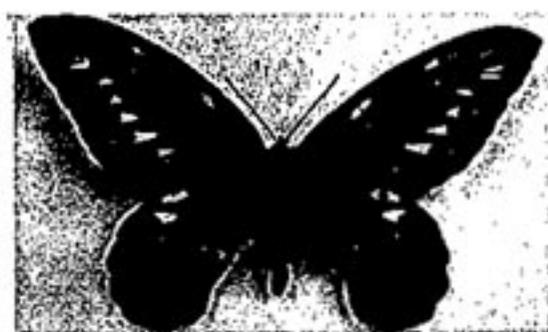
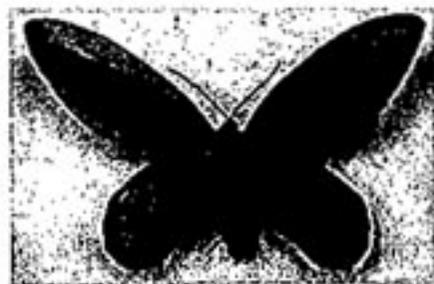
本館には、昆虫研究者として有名な故平山修次郎氏が、東京井の頭「平山博物館」に所蔵していた一部の、世界各国の珍しいチョウ、甲虫類が数多く展示され、また、各種昆虫の発生順序、益・害虫など、人の生活との関係を示す標本や、昆虫の生態写真、系統図、分類図などのパネル、そして、千種川近辺の見本的昆虫標本も併せて展示しており、児童、生徒はもちろん、一般人の自然学習の一助として、飼育部門と共に、昆虫界のようすを充分楽しむことができると同時に、より昆虫に対する興味を深めることができます。



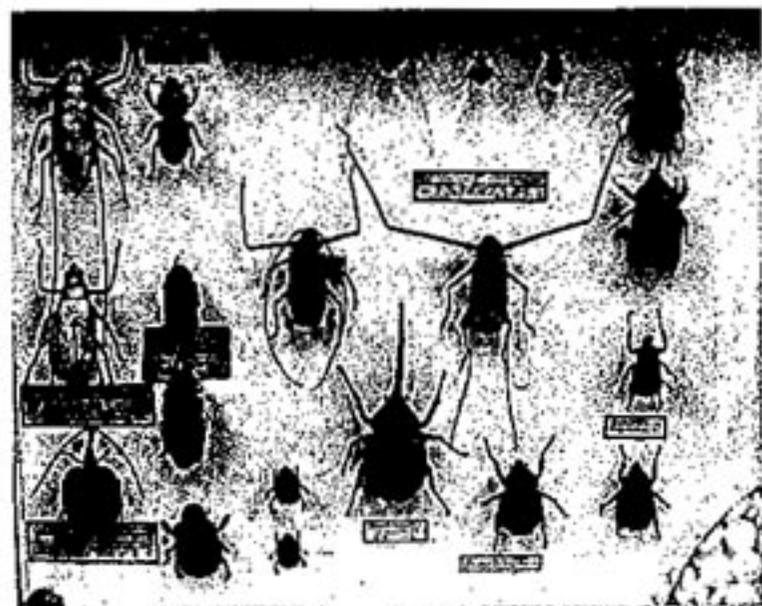
2 標本室の一部

昆虫所蔵標本内容

コウチュウ類	約2,500種	約15,000頭
ハチ類		約 350頭
ハエ類		約 500頭
チョウ・ガ類	約1,200種	約 8,500頭
トンボ類	約 160種	約 1,000頭
バッタ類	約 170種	約 1,000頭
セミ類	約 50種	約 3,100頭
その他		約 2,000頭



3 世界最大級のチョウ
「アレキサンドラ
トリバネアゲハ」



4 甲虫類の一部

昆虫飼育部門

本館は、水族館型のテラリウム、アクアリウムを用いて、昆虫や水生小動物を飼育展示しており、四季折々のこれらの姿を身近に見ることができ、さまざまな行動や、習性を観察できるよう工夫しています。



5 兵庫県下特産の「キベリハムシ」

飼育昆虫

① テラリウム・アクアリウム飼育

カブトムシ、クワガタムシ、カミキリムシ、ハンミョウ、ゾウムシ、オサムシ、ハムシ、ホタル、チョウ、ヤママユ、バッタ、スズムシ、コオロギ、水生昆虫類などを冬期約30種、夏期約70種、年間を通して約150種を飼育しています。

カブトムシ、クワガタムシ、カミキリムシ、ハンミョウ、ゾウムシ、オサムシ、ハムシ、ホタル、チョウ、ヤママユ、バッタ、スズムシ、コオロギ、水生昆虫類などを冬期約30種、夏期約70種、年間を通して約150種を飼育しています。

② 網舎飼育

カブトムシ、チョウ、ヤママユなど。

① 温室飼育

チョウなど。

④ その他

庭園には約150種の見本植物があり、昆虫の食草などの実物観察もできます。

5 秋に生れる「ツチイナゴ」



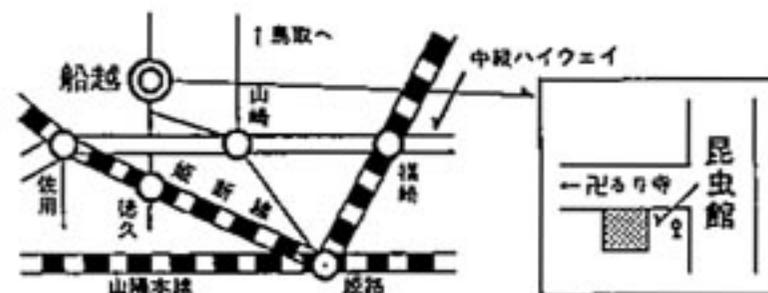
■開館/午前9:00~午後4:00

■休館日/月曜日(連休のときは火曜日、8月は無休)

■入館料/無料

■案内図/下図

年末・年始



設立 昭和46年5月20日

施設概要 本館:平屋建165㎡、他温室・網舎など130㎡、敷地面積942㎡